



平成31年度 施政方針

主要な施策と 取組事項

(1)基本目標1「皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり」

から、ライフステージに応じた施策を展開することにより、健康生活の推進を図ってまいります。

〈健康づくり関連施策〉

新たに、さくら館温水プールを活用した水中運動プログラムを構築し、水中運動の効果や成果を実感できる仕組みづくりに取り組んでまいります。また、「若い世代の健康づくり教室」を開催するなど、若い世代にも健康を意識した生活スタイルづくりを促す取組を進めます。

特定健康診査や各種がん検診につきましては、総合健診日を増やすほか、年度末の3月にもがん検診を実施するなど受診率向上に向けた取組を進めます。また、女性特有のがん検診につきましては、子宮がんが21歳、乳がんが41歳

町政運営に対する 基本的な考え方

議会における慎重な審議の上で、固定資産税超過課税を引き続きお認めいただきましたが、特に重点的に取り組むべき事項について次のとおり設定し、予算配分を行いました。

一つ目、「防災減災対策の強化」です。

大規模地震等の発生や火山活動の活発化が懸念される本町におきましても、防災・減災対策は最重要課題です。平成31年度におきましても、新たに50名の防災士養成を行うとともに、既に資格を取得した防災士に対しましてフォローアップ研修を定期的に開

催し、いざというときに迅速に対応できる人材の育成と支援を行い、安心・安全なまちづくりを進めてまいります。

二つ目、「観光客受け入れ体制の強化」です。

今年は、箱根開所が現在の場所に設置されて400年となります。それを記念して、大名行列を始め年間5つのイベントの実施を中心に「箱根開所設置400年記念事業」を開催いたします。

また、日本遺産「箱根八里」の構成文化財について、保存や活用に向けた計画を取りまとめるほか、箱根八里をPRする物産市の開催やパンフレットの作成など、箱根八里の日本遺産認定と、箱根開所設置400年という2つの大きな節目を捉えて、新たな広域的な観光テーマとして包括的に取り組んでまいります。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催や、今後も増加が見込まれる外国人観光客を見据え、公衆トイレの暖房便座化や、ハイキングコースへのピクトグ

ラム表示導入を引き続き進めるほか、新たに神奈川県と協力してラグビーワールドカップ開催時に、大涌谷などの観光拠点に観光ボランティアガイドを配置するなど、ソフト、ハードの両面で利用者目線に立った環境の整備に努めてまいります。

三つ目、「健康生活の推進」です。

SDGs（エスディーズ）全国フォーラムにて、地域における社会的課題の解決と持続可能な社会の実現に向けて、地域から取り組むとともに、世界における課題解決に貢献する「SDGs日本モデル」宣言」を県や県内自治体と共に行ったところです。

第6次総合計画の重点施策については、SDGsの取組みと相通じるものがあります。「第2次箱根町健康増進計画・食育推進計画」に基づき、自分の体力にあった運動の継続やバランスのとれた食生活の推進、健康診断の奨励、そして、恵まれた温泉資源や美しく豊かな自然を活用しな

に達する方に対して無料で検診が受けられる制度を引き続き実施してまいります。

〈子育て支援関連施策〉

「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」を子育て支援課内に設置していくほか、新たな取組として、支援が必要な家庭を対象に、給食が無い長期休業期間に見守りを兼ねた昼食の配食サービスを行ってまいります。

また、親子のふれあいの大切さを指導する「フアंकシヨナル・タッチ・ペアレントィング」と呼ばれる体験参加型の講座を新たに実施し、子育てのスキルアップや育児不安の軽減を図ってまいります。

なお、10月から全国的に実施されます幼児教育無償化につきましても、国の方針では給食費の実費負担を求めることとされており、本町では給食費等を含め保育料を無償化することとします。

〈地域福祉・障がい者福祉関連施策〉

大平台地区における「あじさいの会」の生活支援サービス活動は、地域の課題に対して自主的に取り組まれている事例として各地域、地区への広がり期待しているところ。また、親子のふれあいの大切さを指導する「フアंकシヨナル・タッチ・ペアレントィング」と呼ばれる体験参加型の講座を新たに実施し、子育てのスキルアップや育児不安の軽減を図ってまいります。

障がい者福祉関連施策につきましては、福祉タクシー利用券および自動車燃料助成券の交付や施設通所者への交通費扶助などの助成のほか、地域活動支援センター「レインボー」の運営による障がい者の社会参加への支援を引き続き行なってまいります。

町社会福祉協議会への財政支援等を通じて、自治会や民生委員・児童委員、ボランティアの方々との協力をいたしながら、地域の支え合い体制を強化することにより、安心していきいきと暮らすことができる地域福祉の構築を図ります。

障がい者福祉関連施策につきましては、福祉タクシー利用券および自動車燃料助成券の交付や施設通所者への交通費扶助などの助成のほか、地域活動支援センター「レインボー」の運営による障がい者の社会参加への支援を引き続き行なってまいります。

高年齢者の健康保持や交流の場の提供等を目的に、各種イベントを開催するほか、配食サービスの提供やシルバー人

材センターの運営補助などにより、「健康で元気に生きがいをもって暮らせる地域づくり」をより進めてまいります。

介護関連施策につきましては、「持続可能な介護保険サービスの充実」を図り、第7期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に位置付けた3つの基本目標に向けた展開を図ってまいります。

さらには、介護人材確保のために町独自の制度である、町内介護事業所従事者支援のための温泉施設利用券発行や介護職員初任者研修受講料の一部助成を引き続き実施してまいります。

国民健康保険につきましても、保険給付費等の歳出に対して、保険料等の歳入だけでは不足が見込まれる状況となりましたが、保険料は据置き、基金からの繰り入れで対応することといたしました。

今後も持続可能な国民健康保険の財政運営を行っていくために、保険料の収納率の向上に向けた徴収強化のほか、

「(2)基本目標2「未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり」

〈学校教育関連施策〉

特定健康診査の受診率の向上など、健全な財政運営に繋がる取組を積極的に進めてまいります。

教育振興計画に基づき、第3期として、「コミュニケーション能力向上」を柱とした基盤整備に着手いたします。英語教育につきましては、新たに校内放送で、聞き流しの英会話教材を活用するなど、英語が香る学校づくりに取り組んでまいります。

また、「教育相談センター」につきましても、相談人員体制などの強化を図るとともに、生活や学習上の困難を感じる児童を対象とした通級指導教室「スマイル」を新たに箱根の森小学校内に開設します。

校舎等の整備につきましても、箱根中学校屋内運動場やグラウンド等の大規模改修を行うほか、湯本小学校の普通教室・特別支援教室へのエア

コンの設置や箱根の森小学校、仙石原小学校の洋便器の暖房便座化を行ってまいります。

11月の生涯学習月間に併せて生涯学習フェスティバルを開催するほか、HAKONE大学やプチ体験教室を実施してまいります。また、社会教育センター図書室照明のLED化のほか、プレイルームへのエアコンや親子で本を楽しむような本棚や椅子を設置するなど、本を楽しめる環境整備にも取り組んでまいります。

文化財関連施策につきましては、郷土資料館において「箱根登山鉄道開通100周年記念展」を開催します。

3



〈生涯学習関連施策〉

11月の生涯学習月間に併せて生涯学習フェスティバルを開催するほか、HAKONE大学やプチ体験教室を実施してまいります。また、社会教育センター図書室照明のLED化のほか、プレイルームへのエアコンや親子で本を楽しむような本棚や椅子を設置するなど、本を楽しめる環境整備にも取り組んでまいります。文化財関連施策につきましては、郷土資料館において「箱根登山鉄道開通100周年記念展」を開催します。